

令和3年5月期・期末連結決算の概要

I. 令和3年5月期・期末連結累計期間の概況について

医薬品業界におきましては、国のジェネリック医薬品使用促進策が進められ、ジェネリック医薬品の普及が拡大する一方、令和元年10月には消費税率引き上げに伴う薬価改定が実施され、令和2年4月には2年に1回の通常の薬価改定が実施されました。さらに令和3年4月に薬価改定が行われ、今後毎年薬価改定が実施されることが決まっており、医薬品業界の事業環境は厳しいものとなることが予想され、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

当社グループにおける原薬につきましては、血圧降下剤原薬、消炎鎮痛剤原薬及び抗アレルギー剤原薬等のジェネリック医薬品向け原薬の販売増加、新薬中間体や長期収載品の原薬受託製造の販売増加、並びに海外向け原薬の販売増加があり堅調に推移し、売上高は25,459百万円（前期比5.2%増）となりました。

製剤につきましては、自社開発ジェネリック医薬品及び高薬理活性製剤の販売増加、医療用医薬品における新規の新薬や長期収載品の製造受託の販売増加があり順調に推移し、売上高は22,948百万円（前期比11.8%増）となりました。

健康食品他につきましては、順調に推移し、売上高は307百万円（前期比23.2%増）となりました。

II. 連結損益の状況

① 損益実績

(百万円)

	令和2年5月期		令和3年5月期		対前期比較		令和3年5月期 計画		進捗率
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%	金額	%	
売上高	44,991	100.0%	48,714	100.0%	+3,723	+8.3%	48,900	100.0%	99.6%
売上原価	35,506	78.9%	37,923	77.8%	+2,416	+6.8%			
売上総利益	9,484	21.1%	10,791	22.2%	+1,307	+13.8%			
販管費	4,127	9.2%	4,883	10.0%	+755	+18.3%			
営業利益	5,357	11.9%	5,908	12.1%	+551	+10.3%	5,900	12.1%	100.1%
営業外収益	130	0.3%	197	0.4%	+66	+51.2%			
営業外費用	25	0.1%	39	0.1%	+13	+54.1%			
経常利益	5,462	12.1%	6,067	12.5%	+604	+11.1%	6,000	12.3%	101.1%
特別利益	304	0.7%	125	0.3%	△179	△58.9%			
特別損失	172	0.4%	318	0.7%	+146	+85.3%			
税引前利益	5,595	12.4%	5,873	12.1%	+278	+5.0%			
親会社株主に帰属する当期純利益	3,944	8.8%	4,246	8.7%	+301	+7.6%	4,000	8.2%	106.2%

* 連結子会社数 3社 (大和薬品工業㈱、Daito Pharmaceuticals America, Inc.、大桐製薬(中国)有限責任公司)

* 返品調整引当金繰入額及び返品調整引当金戻入額は、売上原価に含めております。

② 品目別売上高

(百万円)

	令和2年5月期		令和3年5月期		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	24,211	53.8%	25,459	52.3%	+1,248	+5.2%
製剤	20,530	45.6%	22,948	47.1%	+2,417	+11.8%
健康食品他	250	0.6%	307	0.6%	+57	+23.2%
合計	44,991	100.0%	48,714	100.0%	+3,723	+8.3%

III. 設備投資の状況

(百万円)

	令和2年5月期	令和3年5月期	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額(発生ベース)	3,808	5,335	+1,526
無形固定資産の投資額()	42	59	+17
合計	3,850	5,395	+1,544

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・高薬理製剤製造設備	1,332	ダイト 高薬理製剤棟の製造設備の増設
・原薬製造設備等	1,098	ダイト 原薬棟の新設
・包装製造設備等	461	ダイト 包装設備の増強・更新
・製剤製造設備等	682	ダイト 製剤設備の増強・更新

決算発表・補足説明資料 (2/3)

令和3年7月14日
 ダイト株式会社
 (証券コード4577)

IV. 減価償却費の状況 (百万円)

	令和2年5月期	令和3年5月期	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	2,911	3,114	+202
無形固定資産等	38	39	+1
合計	2,950	3,154	+203

V. 研究開発費の状況 (百万円)

	令和2年5月期	令和3年5月期	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	1,400	2,032	+632

令和4年5月期・通期連結決算の予想

I. 連結損益の予想

① 損益予想 (百万円)

	令和3年5月期 通期		令和4年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
売上高	40,007	100.0%	42,500	100.0%	+2,492	+6.2%
営業利益	5,908	14.8%	5,900	13.9%	△8	△0.1%
経常利益	6,067	15.2%	6,000	14.1%	△67	△1.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,246	10.6%	4,250	10.0%	+3	+0.1%

参考：新収益認識基準適用前後の決算数値 (百万円)

	令和3年5月期 (旧基準)	令和3年5月期 (新基準)	令和4年5月期 予想 (新基準)
売上高	48,714 (+8.3%)	40,007 (-)	42,500 (+6.2%)
経常利益	6,067 (+11.1%)		6,000 (△1.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,246 (+7.6%)		4,250 (+0.1%)

* かつこ内は前期比増減率。

* 新基準での令和2年5月期売上高を算出していないため、令和3年の対前期比は算出しておりません。(一表記)

② 品目別売上高 (百万円)

	令和3年5月期 通期		令和4年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	18,363	45.9%	19,750	46.5%	+1,386	+7.5%
製剤	21,336	53.3%	22,450	52.8%	+1,113	+5.2%
健康食品他	307	0.8%	300	0.7%	△7	△2.6%
合計	40,007	100.0%	42,500	100.0%	+2,492	+6.2%

* 令和4年5月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。令和3年5月期の業績については、当該会計基準等を適用したと仮定して算定した数値を記載しております。

II. 設備投資の状況

(百万円)

	令和3年5月期	令和4年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額 (発生ベース)	5,335	4,970	△365
無形固定資産の投資額 (")	59	130	+70
合計	5,395	5,100	△295

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・ 原薬製造設備等	1,000	ダイト 原薬棟の新設 1,000百万円 ※設備投資総額3,500百万円。
・ 包装製造設備等	699	ダイト 包装設備の増強・更新
・ 製剤製造設備等	767	ダイト 製剤設備の増強・更新
・ 品質保証棟建設	262	ダイト 品質保証棟の新設 ※設備投資総額350百万円。

III. 減価償却費の状況

(百万円)

	令和3年5月期	令和4年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	3,114	3,350	+235
無形固定資産等	39	50	+10
合計	3,154	3,400	+245

IV. 研究開発費の状況

(百万円)

	令和3年5月期	令和4年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	2,032	1,800	△232

以上